

株式会社テクノマセマティカル

2022年3月期＜第22期＞ 第2四半期決算説明会 資料

■ Algorithm Specialist

TMC

2021年11月25日

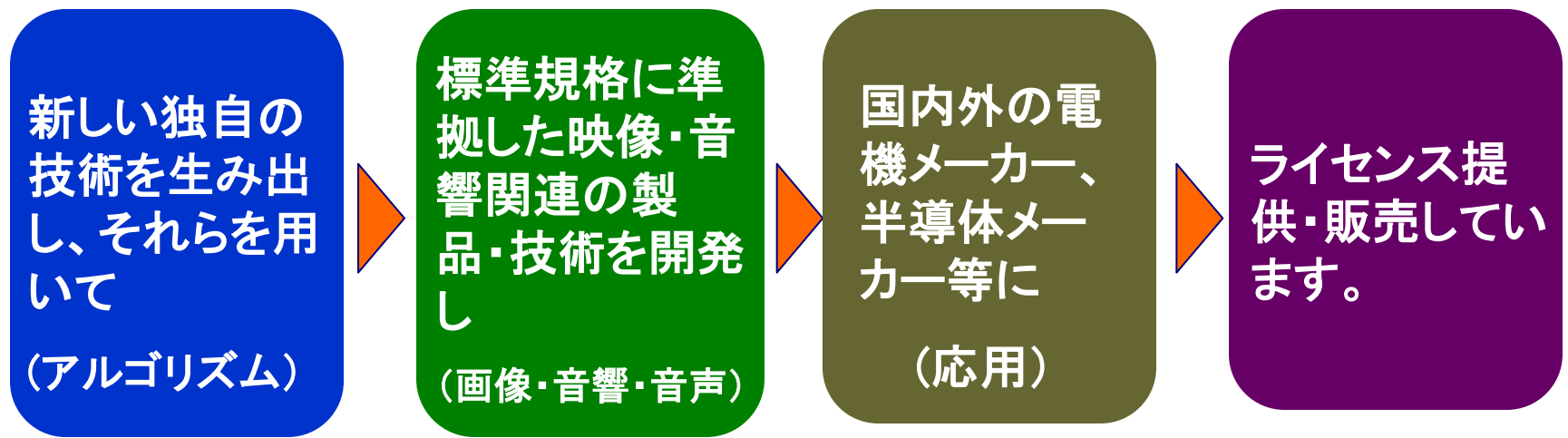
Agenda

1. 事業概要
2. 第2四半期決算の概要
3. 主要な売上指標の推移
4. 通期業績見通し
5. 2022年3月期の課題と進捗
6. 当社技術のご紹介

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをあらかじめご了承ください。

1-1 当社の基幹業務について

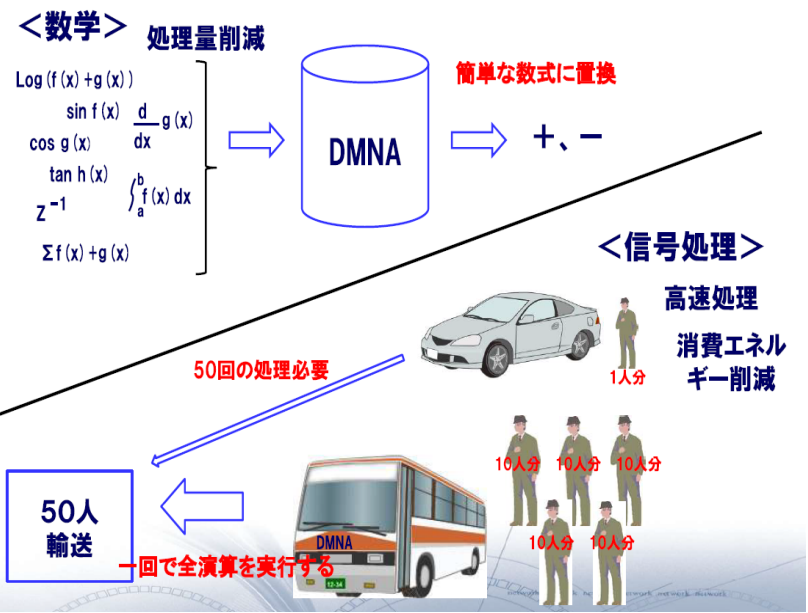


①高圧縮率、②高画質、③低消費電力量、④低遅延
を実現するデータ圧縮・伸張技術を開発、提供し続けます。

1-2 DMNAとは

テクノマセマティカルは、独自の技術「DMNA」を用いた、高品位なソフトウェア・ハードウェア技術・製品で、豊かな社会の実現に貢献します。

DMNA(Digital Media New Algorithm)の特徴



因数分解、折り返し演算、階層化処理等の数学的手法を用いて、演算の負荷を劇的に削減する新アルゴリズム、それがDMNA (Digital Media New Algorithm) です。DMNA は東京大学 客員教授の田中正文が中心となって開発、その応用分野は動画像に限らず、静止画、音声、音響等あらゆるデジタルメディアに広がっています。

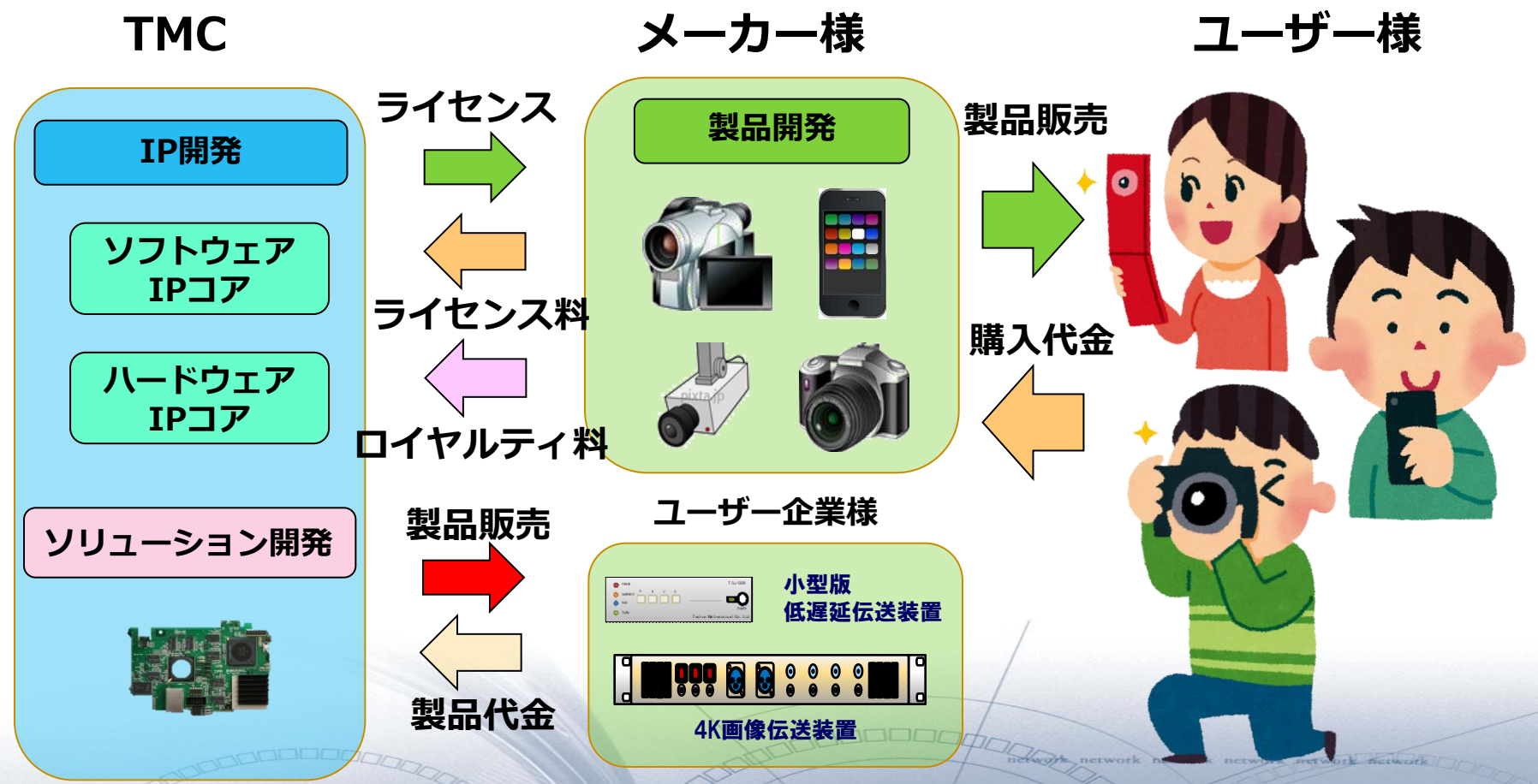
- 低消費電力** : CPU負荷をドラスティックに削減 !
(H264 Dec ARM 2572Mhz ⇒ 407Mhz)
- 高速化** : CPUの動作周波数を上げずに性能向上
(フレームレート: 60fps ⇒ 120fps)
- 高画質** : 新アルゴリズムによる2dbの画質向上
(空気を写す画質、)

TMC製品搭載機器例、



1-3 ビジネスモデル

当社は、独自のコンピューターアルゴリズム DMNAを用いて高品質・低消費電力・低遅延のIP・ソリューションを開発し、国内外のメーカー様等にライセンス提供または販売しています。



1-4 当社事業の特徴

1. 独自技術により差別化された製品

「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造

ライセンス/ロイヤルティ・モデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開可能

国際標準規格準拠、日本発の映像/音響製品

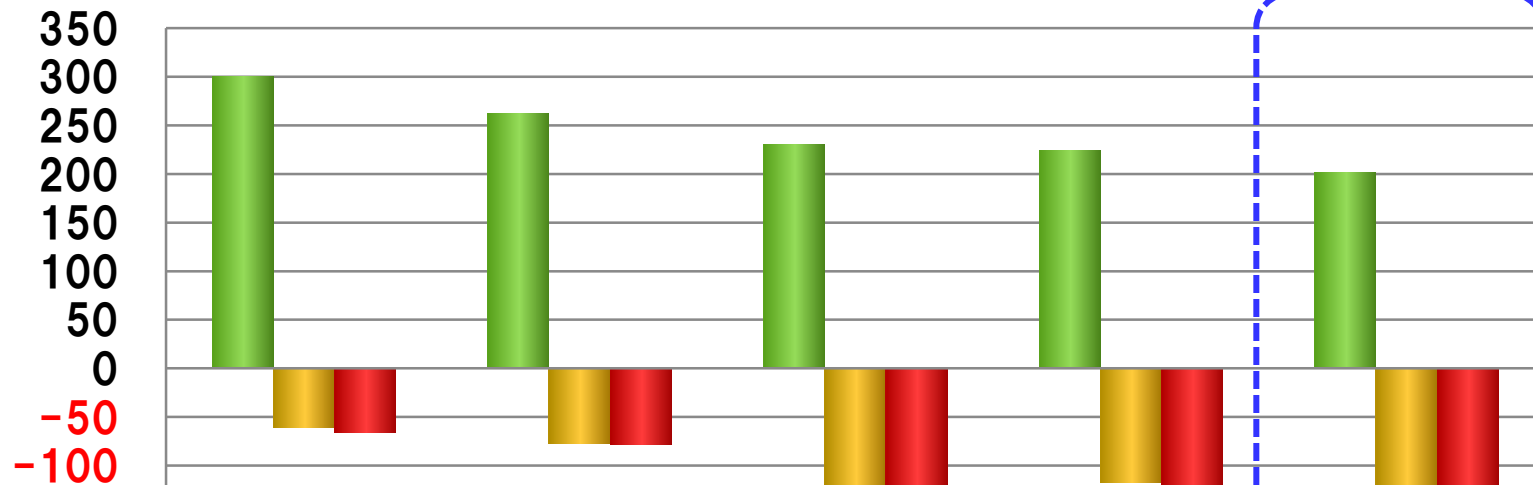
4. 事業領域拡大による収益力の向上

既存/新規の技術を応用したソリューション分野への展開

2-1 業績の推移

- ◆ 売上高 前年同期間比9%減
米国TV局向け装置物販売一巡も新規ライセンス案件拡大が下支え
- ◆ 損益面 売上高と同様、損益面も赤字幅ほぼ横ばい

(百万円)



	2018/3期 2Q	2019/3期 2Q	2020/3期 2Q	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q
■ 売上高	300	262	230	224	202
■ 経常利益	△ 61	△ 77	△ 119	△ 117	△ 120
■ 2Q純利益	△ 66	△ 78	△ 120	△ 119	△ 122

2-2 損益計算書 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(単位：百万円)	当第2四半期（累計） (2022/3期2Q)	構成比	対前年同期間 増減比	前年同期間 (2021/3期2Q)
売上高	202	100.0%	Δ9.8%	224
売上総利益	196	96.8%	Δ3.3%	202
販売管理費	318	157.1%	1.0%	315
営業利益	Δ122	Δ60.3%	—	Δ112
経常利益	Δ120	Δ59.6%	—	Δ117
四半期純利益	Δ122	Δ60.3%	—	Δ119

2-3 貸借対照表 (2021年9月30日)

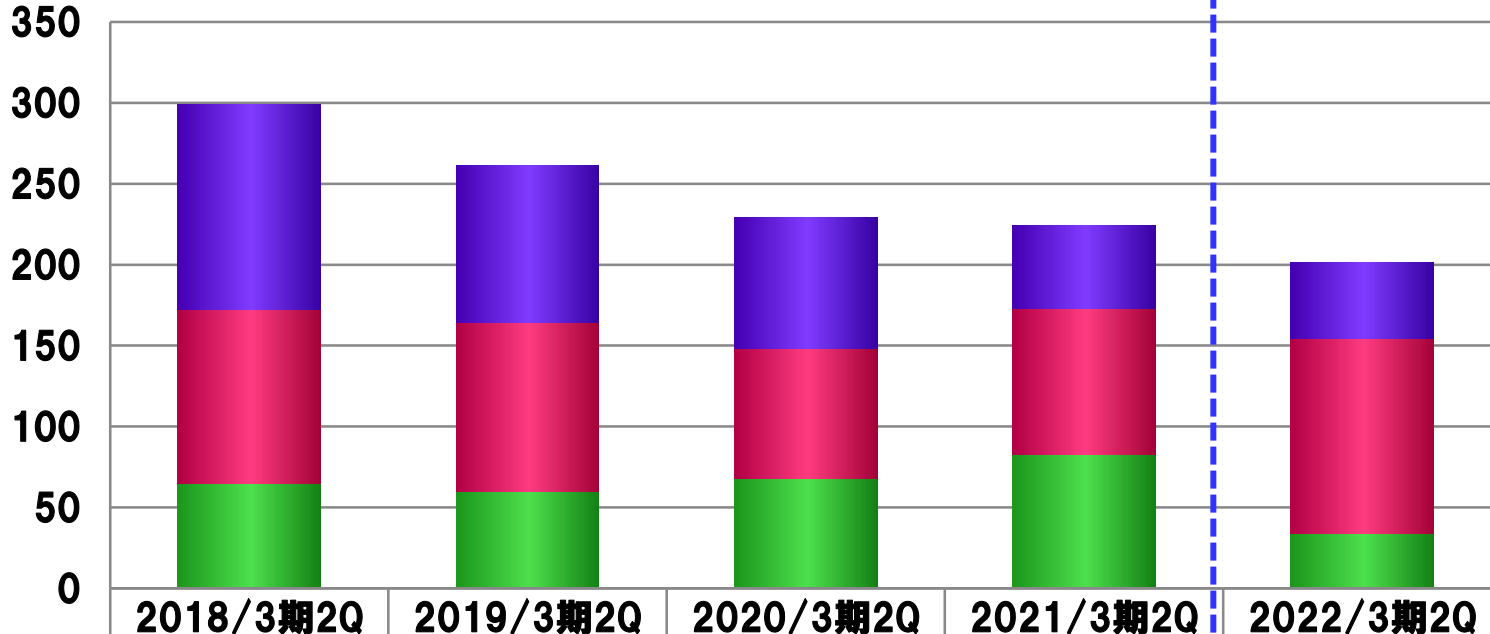
(単位:百万円)

	2021/9末	構成比	対前期末比 増減	2021/3末
流動資産	1,446	62.5%	△164	1,610
固定資産	865	37.4%	46	819
資産合計	2,311	100.0%	△117	2,429
流動負債	74	3.2%	3	71
固定負債	12	0.5%	0	12
純資産	2,224	96.2%	△121	2,345

3-1 売上の内訳(事業区分別)

- ◆ソフトウェアは前年同期間比7%減・・・デジカメ、車載向けロイヤルティの減少が響く
- ◆ハードウェアは前年同期間比34%増・・・ロイヤルティ減ながら国内外で4件の新規案件獲得が貢献
- ◆ソリューションは前年同期間比58%減・・・米国TV局向け小型低遅延伝送装置売上が一巡

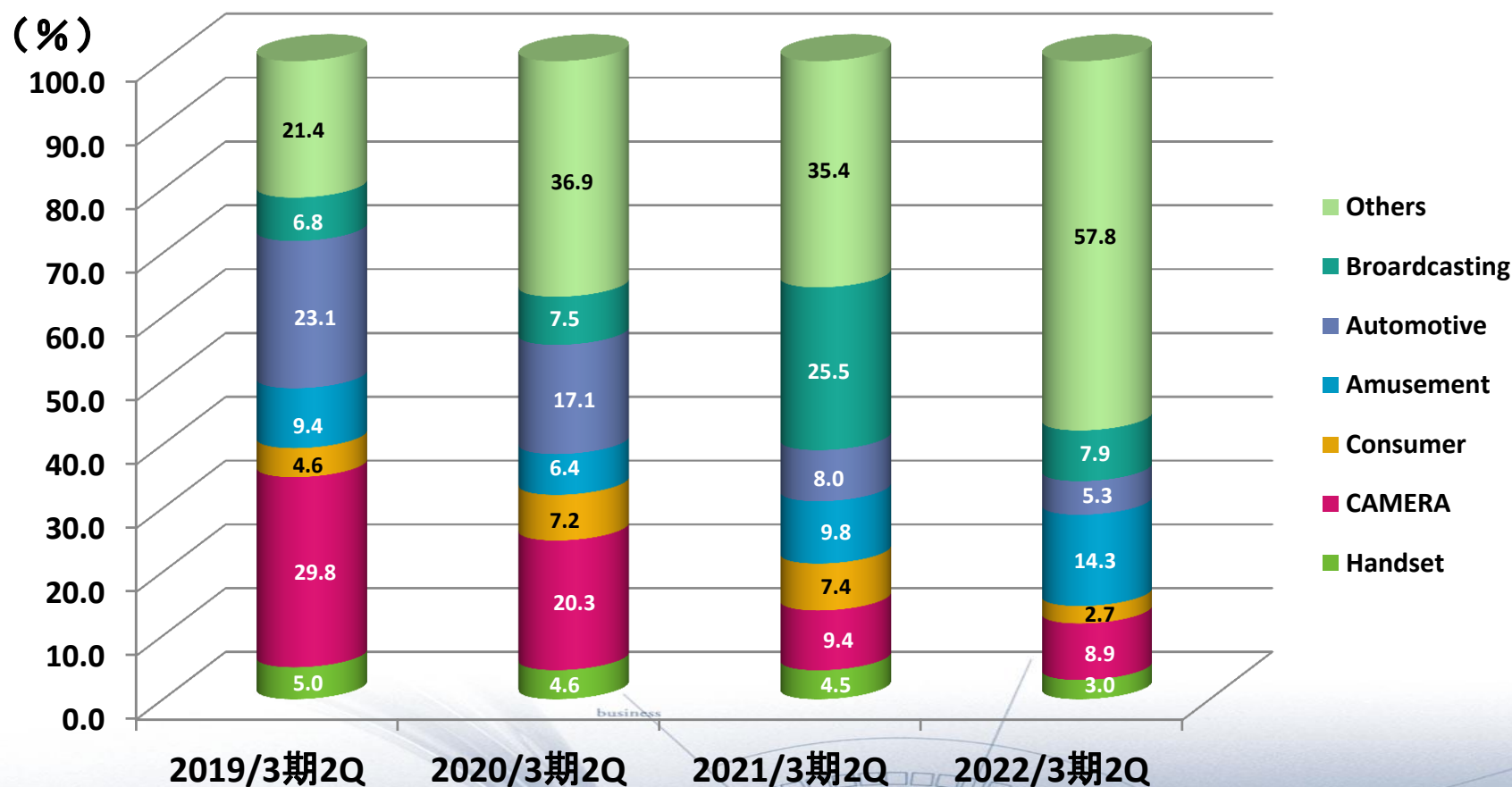
(百万円)



■ ソフトウェア	127	97	81	51	47
■ ハードウェア	107	104	80	90	120
■ ソリューション	65	60	68	83	34

3-2 売上の内訳(対象市場別)

- ◆放送向けウエイト急減は米国TV局でのリモートスタジオ向け案件一巡が主因。
- ◆カメラ向けおよび車載向けウエイト低下はロイヤリティ減少が主因。



4-1 2022/3期通期業績見通し

(単位:百万円)

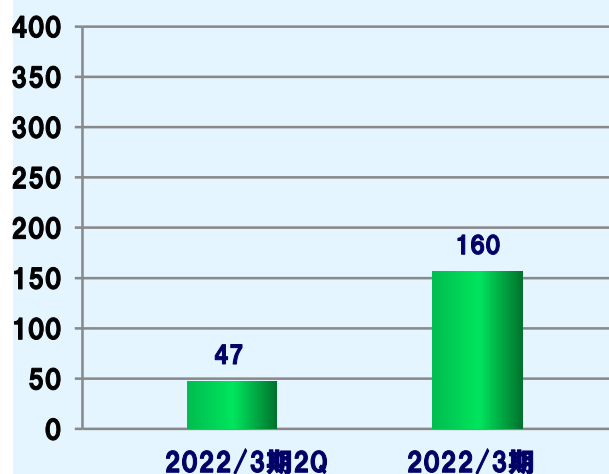
	通期予想	増減	増減率	前期実績
売上高	560	143	34.5%	416
経常利益	△140	102	— %	△242
当期純利益	△143	102	— %	△245

- 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進展することなどにより、我が国をはじめ主要国で経済活動の再開が順調に進み、第3四半期から各種経済活動の回復度合いが徐々に加速していくことが前提条件。
- この前提条件の下、各事業で案件数増加とロイヤルティの回復を見込み、増収効果により利益水準も赤字ながら前期より改善する予想。

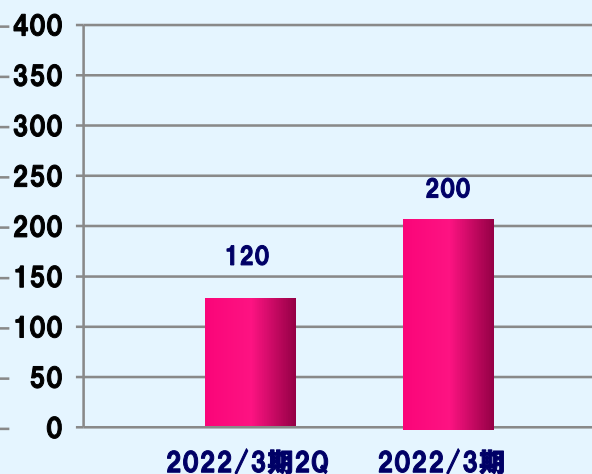
4-2 部門別見通し

<売上高> (単位：百万円、2022/3期2Qは実績値 2022/3期は計画値)

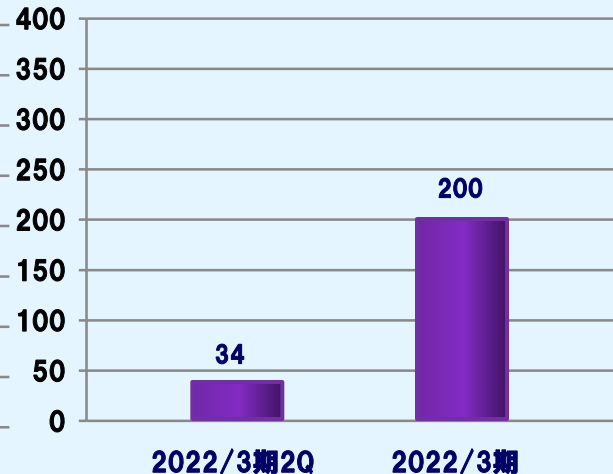
ソフトウェア事業



ハードウェア事業



ソリューション



- ・ オーディオ、ボイス関連は**車載、音声認識、携帯端末**向け案件獲得見込む
- ・ **各種配信システム**関連でH.264/H.265等ビデオ関連は底堅い需要見込む

- ・ **デジカメ、放送機器**向け中心に**H.265、4K/8K**案件獲得目指す
- ・ **ディスプレイ装置**向け中心に**固定長圧縮、デムラ圧縮**などの伸び見込む
- ・ **放送機器**向け**MPEG2**も期待

- ・ **低遅延小型版伝送装置**の国内外での**拡販**見込む
- ・ 防災・防衛向け**低遅延システム**の**拡販**見込む
- ・ **H.264/HEVCモジュールボード**や各種システム構築案件の**獲得**見込む

5 2022年3月期における課題と進捗

1. 売上拡大

- (1) IPライセンス事業: 4K/8K/H.265/固定長/認識率向上SW案件の獲得
 - ⇒ 固定長圧縮技術、De-mura、JPEG-XSのライセンス案件獲得
- (2) ソリューション事業: 市場ニーズを先取りした新製品開発
 - ⇒ AI物体認識率向上、遠隔操作容易化実現の映像鮮明化装置の開発

2. 海外ビジネスの対応強化と案件数拡大

- ⇒ 台湾、欧州企業向けIPライセンス案件(De-mura、JPEG-XS)の獲得

3. 営業ツールとしてのWebページ刷新と営業・開発の連携強化

- ⇒ Webページの刷新、営業と開発で市場情報を共有し顧客対応に反映

4. 既存技術の高機能化・高性能化による差別化/優位性の維持・強化

- ⇒ オリジナルコーデックの4K対応開始

6-1 当社技術のご紹介(一部)

映像鮮明化装置 (開発中)

- 概要
 - 本製品は、雪・モヤ・霧など外的環境によって視界が悪化した映像、逆光・光量不足による暗い映像など、カメラに特有の不明瞭映像を鮮明化します。
- 特長
 - 簡単セッティング: 既存の装置・システムを阻害することなくお使いいただけます。
 - 簡単操作: ボタン操作だけで鮮明な画像に切り替えることができます。
- 仕様
 - 入力インターフェース : SDI 出力インターフェース : HDMI/SDI
 - 電源 : DC 12V ± 10%
 - ビデオフォーマット :
 - 1080/60i, 59.94i, 50i, 30p, 29.97p, 25p
 - 720/60p, 59.94p, 50p

<最小構成例>

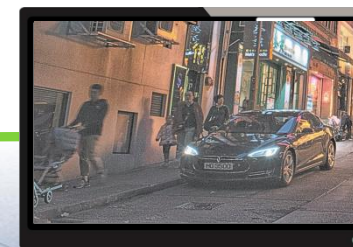
カメラ



映像鮮明化装置



モニタ



6-2 当社技術のご紹介(一部)

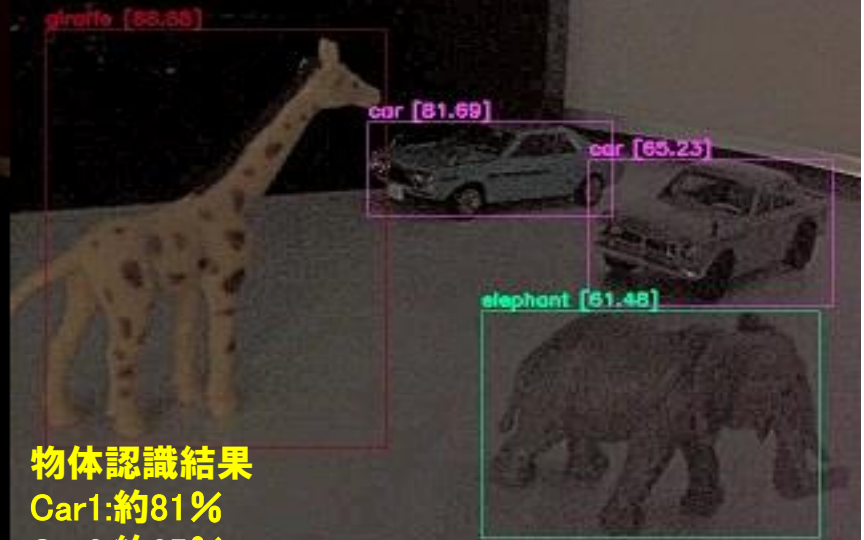
AI認識率の向上

YOLO: オープンソースの深層学習によるリアルタイム物体検出手法

※認識エンジン: YOLO使用

装置使用前

装置使用后



物体認識結果
Car1: 認識せず
Car2: 認識せず
Elephant: 認識せず
Giraffe: 約33%

物体認識結果
Car1: 約81%
Car2: 約65%
Elephant: 約61%
Giraffe: 約88%

TMCは“見えないものが見える”技術で
お客様の課題を解決します!

アルゴリズムの分野で 世界のスタンダードになる！

ご清聴ありがとうございました。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問い合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 経営企画部

TEL:03-3492-3633 E-mail:ir@tmath.co.jp